

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 28 日作成)

委員会名	クリマアトラス実用化 WG	主 査 名：渡辺浩文
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (都市環境・都市設備小委員会)	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	クリマアトラスの実用化に向けた活動として、クリマアトラスの更新について GIS 等の新しい技術を取り入れながら継続するとともに、自治体における利活用方法やマップ作成法の標準化を検討する。研究成果の一部を出版物にとりまとめる作業やシンポジウムの開催等についても実施する。	
委員構成 (委員名(所属))	渡辺浩文(主査：東北工業大学) 鳴海大典(幹事：大阪大学) 竹林英樹(幹事：神戸大学) 石田秀樹(北海道東海大学) 平野勇二郎(国立環境研究所) 足永靖信(建築研究所) 成田健一(日本工業大学) 李海峰(建築研究所) 岩井一博(信州大学) 芝池英樹(京都工芸繊維大学) 吉田篤正(大阪府立大学) 宮崎ひろ志(姫路工業大学) 清田誠良(広島工業大学) 依田浩敏(近畿大学) 堤純一郎(琉球大学) ほか協力委員数名	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	90,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回： 4/12・出席 8 名， 第 2 回： 9/15・出席 7 名， 第 3 回： 12/23・出席 8 名， 第 4 回： 3/11・出席 4 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開勉強会「クリマアトラス実用の技法と適用」開催(4/12, 建築会館, 都市気候対策小委員会との共催) 建築雑誌(2004.08)活動レポートに報告を投稿 ・クリマアトラスシンポジウムの開催(12/22, 神戸フィールドスタジオ, 神戸大学 COE との共催) ・「都市・建築計画のための気候学入門」刊行準備(企画刊行小委員会に作業 WG 設置) ・前年度開催のワークショップ成果を技術報告集に投稿(「仙台都市域を対象としたワークショップによる気候解析図と計画指針図作成の試み クリマアトラスの実用化に関する研究(その3)」2004 年 12 月掲載) <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kankyo/s2/klimaatlas.htm</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>成果の取り纏め(技術報告集への投稿)やシンポジウム・ワークショップの開催といった点で成果をあげることができた。次年度は、シンポジウム・ワークショップの開催を継続するとともに、標準化の検討や自治体における利活用などについての検討を進めたい。</p>
その他評価すべき事項	都市環境のクリマアトラスは近年行政分野でも都市環境気候図として着目されており、本 WG の社会的価値は高い。